

若年層の結婚をめぐる状況について

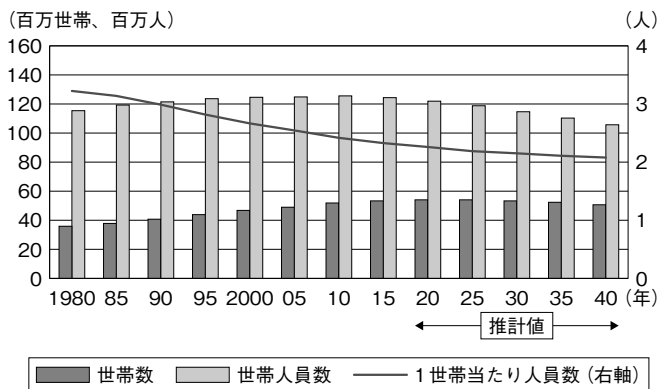
大臣官房総合政策課 大橋 薫／山下 裕介／霞中 孝

本稿では、若年層の結婚をめぐる状況について考察した。

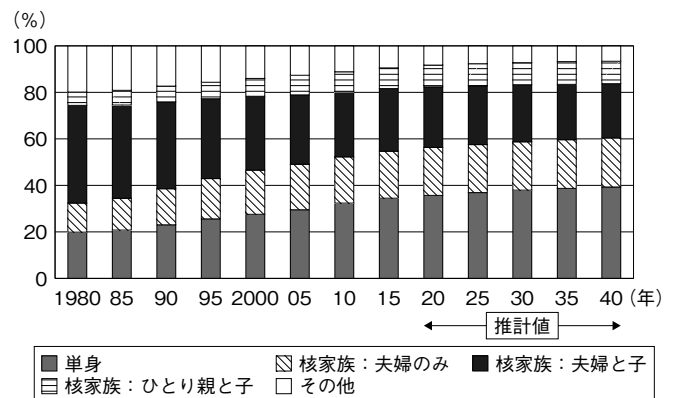
世帯構造の変化

- ・世帯数は、早晩ピークアウトすると言われているものの、世帯当たり人員数の減少を背景に足下では増加傾向にある（図表1）。
- ・家族類型別の世帯構成を見てみると、かつて最も多数を占めていた核家族（夫婦と子）世帯の減少の一方で、単身世帯が増加しており、こうした構成変化も、世帯当たり人員数の減少や、世帯数の増加につながっていることがわかる（図表2）。

図表1 世帯数と世帯人員の推移



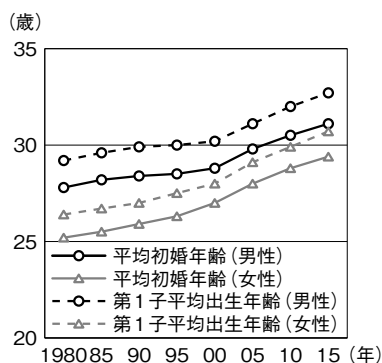
図表2 家族類型別世帯割合の推移



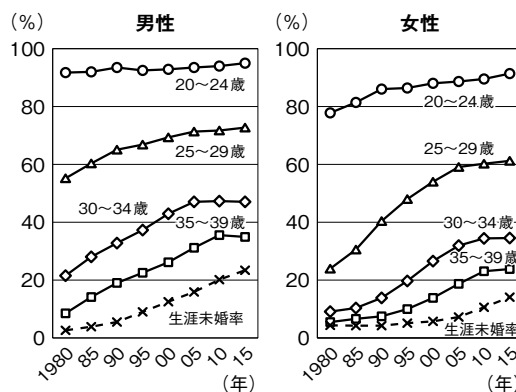
晩婚化が進む

- ・単身世帯の増加には、単身高齢者の増加の影響も大きいですが、本稿では若年層について考察を行う。
- ・若年層の単身世帯が増えた理由の一つに、晩婚化が考えられる。平均初婚年齢は、男女ともに上昇傾向にある（図表3）。男女別の未婚率を見ても、すべての年齢で上昇しており、特に女性の25～29歳において顕著である。また、生涯未婚率も上昇している（図表4）。
- ・一方で、未婚者の結婚意思の推移を見ると、「一生結婚するつもりはない」と回答した人の割合はわずかに増加しているものの、「いずれ結婚するつもり」と回答した人の割合は依然8割を超えており、未婚率の上昇は、結婚意思のない人が増えたからではないことがわかる（図表5）。

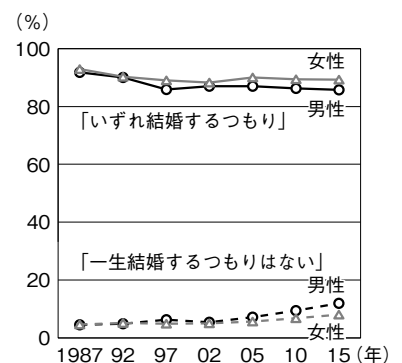
図表3 男女別平均初婚年齢



図表4 男女別未婚率の推移



図表5 未婚者の結婚意思の推移

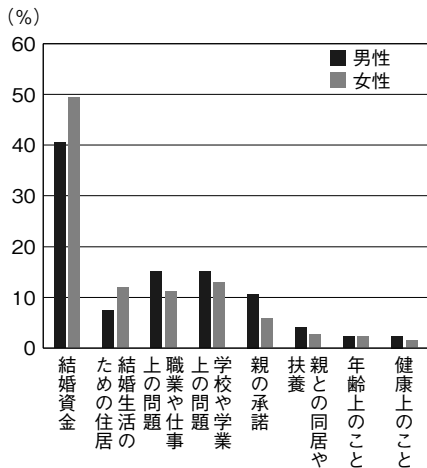


※生涯未婚率は50歳時点での未婚率。

人々を結婚から遠ざけたもの

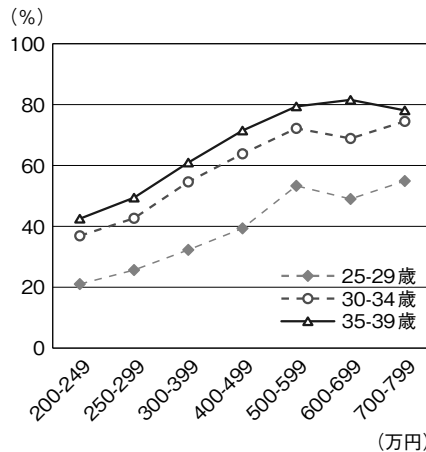
- ・結婚の意思を持つ未婚者が、理想的な相手が見つかって1年以内に結婚を考えた場合、結婚の障害となる要因としては、男女共に結婚資金が一位に挙げられている（図表6）。
- ・実際に、男性の年収別の既婚率を見てみると、一部例外はあるものの、年収が低くなるほど既婚率が低くなっている（図表7）。
- ・男性の非正規雇用比率を見ると、足下は横ばいで推移しているが、1990年代から増加が見られ、年収水準が相対的に低い男性が増えたことも、結婚を遠ざける要因となっていた可能性がある（図表8）。

図表6 結婚の障壁

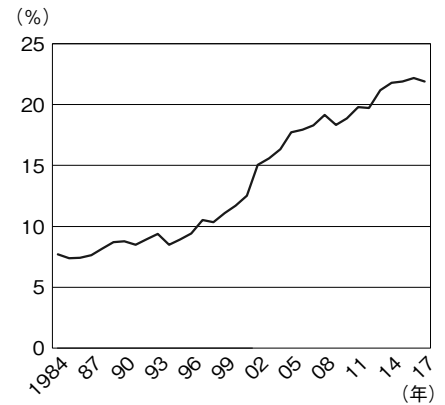


※18～34歳の未婚者で結婚意思を持つ者が1年以内に結婚を考えた場合、結婚の障害となることをアンケート調査した結果。

図表7 男性の年収別既婚率



図表8 男性の非正規雇用比率

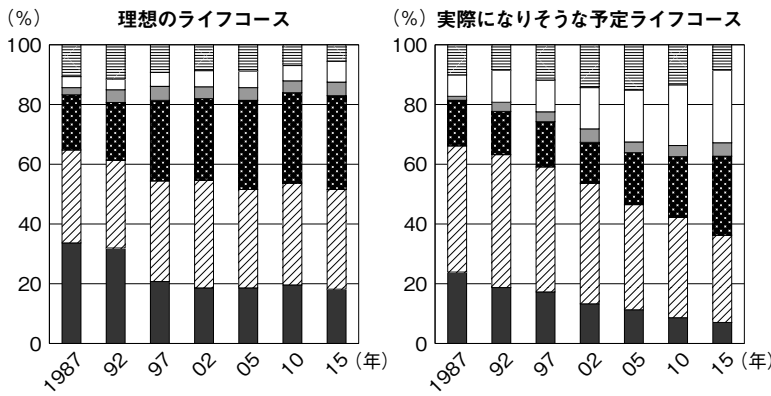


※2001年以前は「労働力調査特別調査」、2002年以降は「労働力調査詳細集計」により作成。調査方法、調査月などに相違がある。

女性の社会進出が進むと…

- ・女性に目を向けると、「理想のライフコース」としては、専業主婦コースが減少、両立コースが増加しているが、「実際になりそうな予定ライフコース」では、専業主婦コースが減少する一方で、増加が著しいのは非婚就業コースである。足下では両立コースの増加も増えてきており、産休や育休などの制度が整ってきたことで結婚・出産後も仕事を続ける女性が増加した可能性が考えられる（図表9）。
- ・女性の年齢別就業率をみると、いわゆるM字カーブは大きく解消されており、女性の社会進出が進んでいる状況がうかがえる。様々な立場にある女性が理想のライフコースを実現できるよう、結婚・出産後も仕事を続けやすい環境が整えられ、多様な働き方が今後も一層浸透していくことが期待される（図表10）。

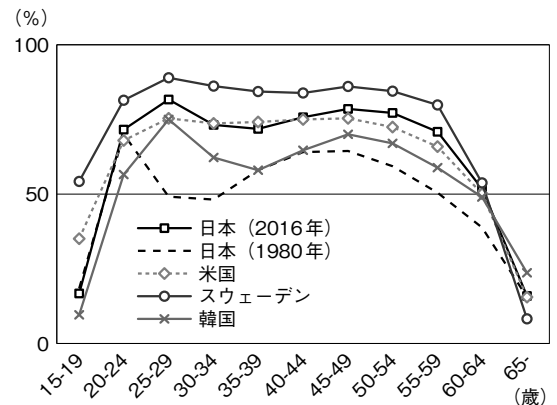
図表9 女性の希望するライフコースの推移



■ その他 □ 非婚就業コース ■ DINKSコース ■ 両立コース ▨ 再就職コース ■ 専業主婦コース

※専業主婦コース：結婚し子供を持ち、その後は仕事をしない。再就職コース：結婚し子供を持ち、一度退職するが、子育て後に再就職する。両立コース：結婚し子供を持つが、仕事も続ける。DINKSコース：結婚するが子供は持たず、仕事を続ける。非婚就業コース：結婚せず、仕事を続ける。

図表10 M字カーブ



(出典) 総務省「国勢調査」「労働力調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」「出生動向基本調査」「人口統計資料」、厚生労働省「人口動態統計」、労働政策研究・研修機構「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状（2）」、ILO「ILOSTAT」

(注) 文中、意見に関する部分は全て筆者の私見である。